



港区新橋 5-15-5 国鉄労働組合中央本部 03-5403-1640 発行人 菊池忠志 編集責任者 瀧口良二 (組合員の購読料は組合費の中に含む)



2・12 1.5%分の賃上げも社会保険料や増税で帳消し、増えぬ「手取り」浮き彫り、大和総研が試算▽米国防予算案、軍備増強で...

2018春闘

国労が春闘勝利中央総行動

国会要請行動・デモ行進



青年部が登壇して中嶋青年部長の音頭で団結がんばろう

国労は、春闘勝利に向け3月6日に一日行動として国労中央総行動を取り組み、2018春闘を職場・地域で勝ち取ることを確認した。

一日行動の午前中は、各政党と衆議院・参議院国土交通委員及び北海道・四国・九州選出議員への要請行動

政党への要請は、1班は菊池委員長を班長に民進党、立憲民主党、希望の党。2班は松川書記長を班長に社民党、自由党。3班は佐々木副委員長を班長に公明党、共産党に要請行動を取り組んだ。



JR30年を検証する三重の集い

集いでは、名松線廃線の危機に直面した当時「名松線を守る会」会長としてご尽力いただいた結城寛元津市自治

【名古屋地本発】「労使共同宣言」を破棄し、今後も続く組織攻撃に若い組合員は戸惑いを隠せない▼東労組を脱退した若い組合員も、この先の展望が示されない中で、非組合員という立場、共済打ち切りの不安などを抱えている▼東労組の大量脱退で職場では36条問題なども浮上してきた▼国労に求められているのは、JRグループ会社の発展に責任を持つ事ではなく、不安に晒された労働者に責任を持つことだろう。(瀧)

JR30年を検証する三重の集い... 集いでは、名松線廃線の危機に直面した当時「名松線を守る会」会長としてご尽力いただいた結城寛元津市自治を求め署名を集約し、結果的に6年の歳月を要したが復旧全線開通となった。三重の会や国労三重県支部の支援・協力の賜物」と激励の挨拶を頂いた。

JR30年を検証する三重の集い 名松線廃線の危機を乗り越える 国鉄闘争を支援する三重の会が主催して、2月4日に三重県津市内において、「JR30年を検証する三重の集い」が会員、組合員・OBなどが参加して開催された。

【名古屋地本発】「労使共同宣言」を破棄し、今後も続く組織攻撃に若い組合員は戸惑いを隠せない▼東労組を脱退した若い組合員も、この先の展望が示されない中で、非組合員という立場、共済打ち切りの不安などを抱えている▼東労組の大量脱退で職場では36条問題なども浮上してきた▼国労に求められているのは、JRグループ会社の発展に責任を持つ事ではなく、不安に晒された労働者に責任を持つことだろう。(瀧)

【名古屋地本発】「労使共同宣言」を破棄し、今後も続く組織攻撃に若い組合員は戸惑いを隠せない▼東労組を脱退した若い組合員も、この先の展望が示されない中で、非組合員という立場、共済打ち切りの不安などを抱えている▼東労組の大量脱退で職場では36条問題なども浮上してきた▼国労に求められているのは、JRグループ会社の発展に責任を持つ事ではなく、不安に晒された労働者に責任を持つことだろう。(瀧)

の意思統一を行った。松川書記長から要請行動の趣旨説明が行われ、瀧口教宣部長から取り組みにあたっての諸注意が行われたあと、各グループに分かれ要請書「JR 30年を検証する」と冊子「JR30年の検証」を持って衆・参国土交通委員への要請を行った。



菊池委員長を先頭に新宿の繁華街をデモ行進

また、北海道・四国・九州選出議員への要請行動は北海道・四国・九州エリア本部の書記長により取り組まれた。

長、九州本部千々岩委員長、全国国貨物協議会木村事務局局長より決意表明が行われた。最後に青年部が登壇し、中嶋青年部長の団結がんばろうで集会を終えた。

澤壽議長、平和フォーラムの勝島一博事務局長、日本労働弁護団の福田護弁護士から、「国労が18春闘の先頭で頑張つて欲しい」「安倍政権の押し進める働き方改革を阻止するために共に闘おう」など激励の挨拶を受けた。

松川書記長より、「2018春闘に向けた取り組みについて」と具体的な提議が行われたあと、北海道本部伊藤委員長、東日本

長、九州本部千々岩委員長、全国国貨物協議会木村事務局局長より決意表明が行われた。最後に青年部が登壇し、中嶋青年部長の団結がんばろうで集会を終えた。

長、九州本部千々岩委員長、全国国貨物協議会木村事務局局長より決意表明が行われた。最後に青年部が登壇し、中嶋青年部長の団結がんばろうで集会を終えた。

JR東労組に対するJR東日本の異常なまでの組織攻撃が仕掛けられ、何万人という単位での組織脱退が進んでいる▼鬼と呼ばれた動労(革マル派)が一夜にして国鉄分割・民営化容認に方針転換し、JR発足後はJR総連の要職を占め、「企業一組合」を標榜し、会社と共に国労潰しに加担してきた▼警察庁警備局が「極左暴力集団革マル派がJR総連に相当浸透している」と指摘する中、箱根以西のJR東海・西日本・四国・九州では「革マル派」を排除し会社主導の新組合(JR連合)が結成された▼JR発足30年にして、JR東日本も「革マル派」排除を決断した。それは、富田社長が経団連の副会長に内定した事も無関係ではないだろう▼東労組のストライキを口実に、職場では一斉に会社幹部が「会社が置かれた情勢について」の説明を繰り返して、富田社長名による「社員の皆さんへ」が3度も出され、陰に陽に東労組組合員に対し、労働組合なのか会社なのかの選択を迫ってきた▼東労組がストライキを中止しても、一方的に「労使共同宣言」を破棄し、今も続く組織攻撃に若い組合員は戸惑いを隠せない▼東労組を脱退した若い組合員も、この先の展望が示されない中で、非組合員という立場、共済打ち切りの不安などを抱えている▼東労組の大量脱退で職場では36条問題なども浮上してきた▼国労に求められているのは、JRグループ会社の発展に責任を持つ事ではなく、不安に晒された労働者に責任を持つことだろう。(瀧)



上野駅公園口で行われた全国統一3000万人署名

上野支部が街頭宣伝行動 憲法を活かす全国統一署名

東京地本上野支部は2月24日に休日賑わう上野駅公園口で「安倍改憲NO! 憲法を活かす全国統一3000万人署名」を取り組んだ。



150枚のチラシ配布と23筆の署名を集約

支部では、署名行動を通じて憲法改悪阻止を世論に訴え、同時に、職場・分会の活性化、地区協議会との連携強化を目的に街頭宣伝行動を決定した。

和となり、非番・休みの組合員17名が結集した。野根支部委員長を先頭に、各自が「憲法9条が有ったからこそ世界で信頼を得、73年間戦争で殺し殺される事なかった」「国会内は改憲勢力の数が多すぎ、国民の力で平和憲法を守りましょ

う」「社会保障を切り捨てる中で、多額の税金が米国産の武器購入に使われていることを許してはいけない」と訴えるなか、参加者ひとり一人が「憲法9条を守りましょー!署名にご協力をお願いします!」と大きな声で署名を呼び掛けた。

午前中の1時間の行動だったが、150枚のチラシ配布と23筆の署名を集約し、次回は地区協独自で行うことを確認した。

米子地本が要請行動 木次線沿線自治体へ

米子地本と出雲支部は昨年12月に続き、木次線沿線の奥出雲町、雲南市の議会・行政に対する要請行動を2月27日に取り組んだ。

細田実雲南市長議員に紹介して頂き、「①木次線活性化に向けた継続した取り組み。②ローカル線への国からの支援。③鉄道道整備法の対象拡大。④鉄道事業法の見直し」について要請を行った。

現在、木次線の活性化を図る為に駅舎を利用した催しやイベント列車の運転が行なわれている。近々に「木次線を守る議員連盟」も発足されるなど、木次線を守る為に

意見交換会では、「トロッコ列車が平成31年度の運行が計画できないなか、木次線から観光列車が無くなるのではないか」「山陰DCに合

わけて運行される「天地の木次線への乗り入れが出来ないか」「観光で訪れ木次線の便数の少なさに驚く人が多く、観光客が列車を利用したくても出来ない」などが出された。



木次線活性化等を求める要請書を手渡す倉下委員長

地域が一丸となって取り組んでいる。国鉄分割・民営化のとき、

「赤字ローカル線を守ります」という「約束」はどこに行つたのか」という話も出されたが、JRは国民の共有財産を引き継いだ「公益事業者」であることを地域の方はしっかりと見ている。

同時に、「労働組合の姿勢・運動も問われている」という認識のもと、地域の方々と共に「木次線を守る取り組み」を強化していきたい。

マーチ・イン・マーチ 2018

多民族・多文化共生社会を



実行委員会形式による「マーチ・イン・マーチ2018」がある多民族・多文化共生社会」が3月4日に上野公園水上音楽堂で開催された。

ブラジリアン「カポエイラ・ダンス」のオーブンニングのあと、主催者を代表して、けんり春闘実行委員会の金澤壽共同代表が、「日本で働く外国人は100万人を超えている。日本が少子高齢化社会を迎えるなか、その数は更に増えて行くだろう。日本で働く全ての労働者の生活と権利が守られ、多国籍の仲間とともに働き、ともに生きる『多民族・多文化共生社会』を目指していこう」と挨拶を行った。

その後、日本音楽協議会東京支部の歌、全統一労働組合から「外国人技能実習生の権利を確立しよう」とのアピール。寿・外国人出稼労働者と連帯する会の踊り。東京朝鮮高級学校卒業生の李章浩さんの「朝鮮学校で学ぶ権利を」との

歌と踊りの途中には「解雇自由は許さない!」として、5年5カ月の闘いを経て和解を勝ち取ったフジビ闘争、JAL不当解雇撤回を闘う原告団、日本人乗務員を職場に戻せと闘っているFAユニテッド闘争団から挨拶が行われた。

「がん」の保障 《新生きるためのがん保険Days 新生きるためのがん保険Daysプラス》

新生きるためのがん保険Days
保険期間：終身(抗がん剤治療給付金は10年)

診断給付金	1回限り がん100万円 新生物10万円
入院給付金	1日につき 10,000円
通院給付金	1日につき 10,000円
手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療給付金	治療を受けた月ごと 10万円(給付倍率2倍)
	乳がん・前立腺がんのホルモン療法を受けた月ごと 5万円(給付倍率1倍)

2014年9月22日現在

※(抗がん剤治療特約)の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

新生きるためのがん保険Daysプラス
通院給付金日額10,000円 保険期間：終身(抗がん剤治療給付金は10年)

診断給付金	1回限り がん50万円 新生物5万円	1回限り 上皮内新生物5万円	—
通院給付金	1日につき 10,000円	1日につき 10,000円	—
抗がん剤治療給付金	治療を受けた月ごと 5万円(給付倍率2倍)	乳がん・前立腺がんのホルモン療法を受けた月ごと 2.5万円(給付倍率1倍)	治療を受けた月ごと 5万円(給付倍率2倍)
	—	乳がん・前立腺がんのホルモン療法を受けた月ごと 2.5万円(給付倍率1倍)	—

2014年9月22日現在

※(抗がん剤治療特約)の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

新生きるためのがん保険Daysプラス
団体(集団)取扱・月払
保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

性別	契約日の満年齢	診断給付金ありコース	診断給付金なしコース
男性	20歳	735円	405円
	30歳	1,035円	545円
	40歳	1,560円	830円
	50歳	2,580円	1,450円
	60歳	4,405円	2,690円
女性	20歳	900円	585円
	30歳	1,300円	860円
	40歳	1,955円	1,360円
	50歳	2,480円	1,740円
	60歳	2,905円	1,970円

2014年9月22日現在

※(抗がん剤治療特約)の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。